

県民等から提出された意見等の概要とこれに対する県の考え方

県民意見提出手続により提出された意見等の概要とこれに対する考え方 1

出前会議参加団体等との意見交換、NPO と行政の協働会議で提出された意見等の概要とこれに対する考え方 13

市町から提出された意見等の概要とこれに対する県の考え方 22

県民等からの意見提出の状況

提出状況 \ 方法	県民意見 提出手続	出前会議・NPO	市町
意見等提出人数・団体	55	-	7
意見等提出件数	110	65	16
反映	13	2	3
既に盛り込み済	79	53	10
具体の施策の参考	6	1	0
対応困難	1	0	0
その他	11	9	3

県民意見提出手続により提出されたご意見等の概要と これに対する県の考え方

案件名：「地域づくり活動支援指針」「県行政参画・協働推進計画」
検証結果を踏まえた補強・改定（案）について

意見募集期間：平成18年2月2日～平成18年3月3日

意見等の提出件数：110件（55人）

項目等		意見等の概要	件数	県の考え方
指針・計画全般について		県民一人ひとりの力による地域づくり活動のさらなる拡がりに向け、基本的な支援の方向性を明らかにすることは大切なことだと思う。	1	既に盛り込み済みです 今後は、補強・改定した本指針・計画に基づき、県民の参画と協働のより一層の推進を図っていきます。
		全体的に分かりやすく書かれており、参画と協働についてよく理解できた。参画と協働は大変重要なことなので、広くPRしてほしい。	10	
		今後は、指針・計画をいかに実現していくかが重要である。	3	
		県が具体的にどのような施策や取り組みを行ってくれるのかが見えてこない。具体的な施策は今後、どのような形で明らかにされるのか。	1	既に盛り込み済みです P4の「(3) 毎年度の推進と評価」に記述のとおり、参画と協働に関する具体的な施策については、本指針・計画に基づき、毎年「参画と協働関連施策の展開方針（施策体系）」を作成し、公表することとしています。
はじめに	(3)議会と知事の関係は	参画と協働が進み、行政と県民との関係が明確になればなるほど、地方自治の双輪である県議会が果たす役割も重要になる。今後とも、両者が緊張感をもちた上で連携し、県民の意見を聴きながら県政を推進することが兵庫県の発展につながると思う。	3	既に盛り込み済みです P2の「(3) 議会と知事の関係は」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
1 目的・役割等	(2)期間	指針・計画の期間について、「全県ビジョン推進方策」の期間に合わせるの、分かりやすさなどの観点から良いことだと思うが、その意義も簡単に書いておくと良いのではないか。	1	ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P3の「(2) 期間」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。 「総合的・一体的な県行政を推進するため、期間については、県政推進の基本方針である『全県ビジョン推進方策(第2期)』とあわせ、平成18(2006)年度～平成22(2010)年度の5年とします。」
		年次報告を活用した迅速なフォローを行うことには賛同する。そのためには、分かりやすいものになければならない。	1	ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P4の「(3) 毎年度の推進と評価」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。 「また、(『年次報告』の)作成にあたっては、県民の意見も聴くとともに、多彩な地域づくり活動の事例なども組み込むなど、県民に分かりやすいものとしします。」

2 参画と協働による地域づくり	(2)県民とともに歩む県政	参画と協働を実現するためには、県民一人ひとりが、地域のことに積極的に関わっていくことが重要である。最近、増加している犯罪を減らすためにも、地域が力をあわせることが必要である。	既に盛り込み済です P 6の「(2)県民とともに歩む県政」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。 なお、県では、まちづくり防犯活動グループの育成・支援などを通じて、地域住民を中心とする自主的な防犯活動の活性化を図り、地域における犯罪発生の防止をめざす「地域ぐるみ安全対策事業」を実施しています。
3 兵庫が描く参画と協働	(1)参画と協働による兵庫づくり	自分勝手に、無責任な行動をする人が多すぎるように見受けられるので、「新しい公」や「個」を開くといった考え方の教育をしっかりやり、家族や地域のきずなを大切にしてお互いに信じあえる社会を築く必要があると思う。特に、20年、30年先に社会の中核を担う子どもや若者に地域活動に参加してもらい、「参画と協働」の意味をきっちり伝えることが必要である。	既に盛り込み済です P 13の「参画と協働による兵庫づくり」や、P 19の重点取り組み項目「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
		「参画と協働の5つの要素」を示すイラストは、イメージが湧きやすく良い。	その他 本指針・計画の作成にあたっては、県民の皆さんが内容を理解しやすいように、イラストや図表を用いて分かりやすい資料作成に努めました。
	(2)各主体の役割と連携	支援指針・推進計画は、県民や団体、企業だけでなく、市町行政との関係にも触れてあり、参画と協働の推進のポイントは押さえてあると思う。	その他 参画と協働の推進にあたっては、市町との適切な役割分担のもと、緊密な連携を図ることが重要であると考えており、これまで以上に市町と連携を深めながら取り組んでいきます。
		参画と協働については、先進的な市町もあるが、全体的に県の方が進んでいると感じている。対等の関係であることは理解するが、県が市町をリードしていくことも必要である。	既に盛り込み済です P 15の「【地域づくり活動での市町と県の関係は...】」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
		参画と協働について、県と市町との役割分担と連携が大切ではないか。県と市町が同じことをしてもしかたがないと思う。	
		現状では、県と市町が十分に連携できている状況とはいえない。県と市町とが、どのような分野で、どのように連携していくのかをもっと具体的に明示するべきである。	1 具体の施策の参考とします 具体的に県と市町が、どのような分野で、どのように連携していくかについては、本指針・計画の考え方に基づき、今後個々の参画と協働の場面において検討していくべき課題であると考えています。

		自治会、婦人会などの連合組織を「中間支援組織」とするのは一般的ではない。「中間支援機能を持つ組織・団体」とでもしてはどうか。	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P15及びP23の「中間支援組織」を「中間支援機能を持つ組織・団体」に修正するとともに、P15の「【中間支援機能を持つ組織・団体への期待】」の記述を次のとおり修正しました。</p> <p>1 「ここでは、中間支援機能を持つ組織・団体には、ネットワーク形成や調整（コーディネート）活動に重点を置いたNPO/NGOをはじめ、自治会、婦人会などの地域団体や職能団体など各種団体の全県・広域組織など多様なものがあるとらえています。」</p>
4 参画と協働の展開方向	(1)展開にあたっての3つの視点	3つの視点の中で、「過程（プロセス）の共有」がとても重要である。みんなで、創り上げる過程があつてこそ、真の「参画と協働」といえる。	<p>既に盛り込み済みです P17の「過程（プロセス）の共有」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>1</p>
	(2)地域づくり活動の支援の方向 新たな活動を生み、育む	地域では、様々な活動が行なわれており、そうした活動が広く認知されるとともに活動団体相互に情報共有できるしくみをつくってほしい。	<p>既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>2</p>
		県民が地域づくり活動に取り組みたい時に、県の支援施策をはじめ、活動のポイントなどについてまとめた手引書のようなものがあればいいと思う。	<p>既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>1</p>
		先進事例の紹介については、たとえば参画と協働の先進事例に関する記事をネット配信しているリンク先を紹介するページを県ホームページに設けてはどうか。	<p>具体の施策の参考とします 今後、いただいたご意見を参考にし、費用対効果を勘案しながら、導入の可否を検討いたします。</p> <p>1</p>
		参画と協働において重要なことは、「評価」だと思う。NPOの評価システムの検討も進んでおり、これらをうまく活用して、行政が支援を行うなどのしくみが必要である。	<p>既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>1</p>

<p>中学校はトライやるウィークで、学校と地域社会のつながりができつつある。一方、高等学校はまだまだ地域とのつながりが薄いように思われる。高校には、より専門性の高い教員や施設も多く、地域社会にとって有益な知恵があり、また高校生にとっても社会を知るきっかけになると思う。高校と地域社会との交流を進めることができないか。</p>	<p>1</p>	<p>既に実施しています 高校生の地域社会に対する参画意識を高めるため、高校生自身が、地域社会の力となるような活動を行う「高校生地域貢献事業～トライやる・ワーク～」をH17年度から実施しています。</p>
<p>参画と協働の意識はあるが、時間などの制約により、実践できない人をどうするかが問題である。その人たちを駄目な県民とするのではなく、条件さえ整えば、参画と協働を実践する可能性のある県民として捉えてほしい。</p>	<p>1</p>	<p>既に盛り込み済みです P19の重点取り組み項目「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
<p>今まで仕事一筋で退職された方や、子育てを終え時間に少し余裕のできた方が、主体的に活動に参画できるような支援をお願いしたい。</p>	<p>1</p>	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P19の「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」の記述を次のとおり修正しました（下線部を修正）。</p>
<p>「企業、大学などの特性や専門性を生かす取り組みへの支援」の趣旨は分かるが、「交流・連携の機会づくり」とのつながりが理解できない。</p>	<p>1</p>	<p>「企業・事業者、団体、大学等が、それぞれの特性や専門性を生かして地域づくり活動に取り組めるよう、「活動支援ナビ」などを活用した情報集約の場(プラットフォーム)や、多様な主体との交流・連携の機会づくりなどに取り組みます。」</p>
<p>高齢化が進んでいるが、元気な高齢者も多い。趣味の活動だけではなく、それらを地域を良くする取り組みへと展開させていくことが必要であると思う。学んだことや人とのつながりを地域づくりへ生かしていくような施策が必要である。</p>	<p>1</p>	<p>既に盛り込み済みです P19の重点取り組み項目「実践活動につながる学習機会を充実します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
<p>地域づくりに関する様々な講座の修了者などが、地域で活動しやすい環境をつくり、これらの人材をうまく活用することが重要である。</p>	<p>2</p>	<p></p>
<p>県では地域づくりに関する様々な学習講座を開催しているが、講座の修了認定が所属長名などの場合は、修了者が実際に地域で活動する際に躊躇することがあるので、知事名に統一してほしい。</p>	<p>1</p>	<p>具体の施策の参考とします 地域づくりに関する学習講座の修了認定については、各講座の実情に応じて行っていますが、今後、いただいたご意見を参考にし、修了認定の在り方について検討いたします。</p>

	<p>団塊の世代の退職者を含め、主にシニア世代の居場所づくりとして、生涯学習を切り口に参加者との交流を通じて、絆を深め自力を高めることを目的とした文化サロンの創設を提案する。</p>	<p>既に実施しています 県では、シニアをはじめとする多くの県民の皆さんが、主体的に学び、その学習成果を活かしながら実践活動を展開できるように、生活創造センターや、文化会館等において、グループ活動スペース等の施設提供を行うとともに、学習情報の提供・相談、学習グループによる交流の場づくりなど多様な支援を行っています。</p> <p>1 さらに、来年度から本格展開する「県民交流広場」事業では、概ね小学校区単位の活動の場づくりを支援し、生涯学習をはじめ、様々な実践活動を通じて、シニアはじめ県民一人ひとりが身近な地域の中で役割を担いながら生きがいを見いだせるよう支援していきます。 これらを活用しながら、地域特性に応じた、主体的な取り組みを期待しています。</p>
<p>活動を高め、支える</p>	<p>NPOなどの新しい活動への支援もしいが、自治会、婦人会などの活動の重要性を再認識していただき、再活性化への支援をお願いしたい。</p>	<p>既に盛り込み済みです P20の「活動を高め、支える」において、地域団体の創意工夫を生かした活動支援など、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>1</p>
	<p>地域において参画と協働を進めるためには、地域を変えるキーパーソンを育成することももちろん必要だが、地域がその人材を支えることも必要である。</p>	<p>その他 今後とも、県民の皆さん同士のパートナーシップによる地域づくり活動を支援していきます。</p> <p>1</p>
	<p>公園の維持・管理に関する活動をしているが、団体の継続的な活動につながるような支援をお願いしたい。</p>	<p>既に盛り込み済みです P20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>1</p>
	<p>地域づくり活動の展開・継続にあたって重要なことは、活動の場所の確保である。活動に携わっているものが、いつでも集える恒常的な場の確保への支援をお願いしたい。</p>	<p>既に盛り込み済みです P21の重点取り組み項目「既存施設を活用した身近な活動の場づくりを支援します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>2</p>
	<p>県庁舎の会議室などについて、夜間など空いている時間は県民に無料で開放し、地域づくり活動の拠点として利用できるようにすればいい。県民がいつでも気軽に利用できるようになれば、県政も身近に感じると思う。管理については、自治会やボランティアグループに委託すればどうか。</p>	<p>一部既に実施しています 庁舎の会議室を夜間等に開放することは、警備上・保安上の問題などから困難と考えています。ただ、会議室が庁舎の外にあり、警備上も問題のない一部庁舎にあっては、すでに夜間や休日に外部団体にご活用いただいています。 なお、今後とも、庁舎でのイベントの実施など、庁舎が県民の交流する場として身近なものとなるよう検討していきます。</p> <p>1</p>

<p>商店街がさびれている。空き店舗をうまく活用して、地域づくり活動につなげ、ひいては商店街の再活性化をめざすような施策ができないか。</p>	<p>既に盛り込み済みです P21の重点取り組み項目「既存施設を活用した身近な活動の場づくりを支援します」において、ご意見の趣旨に沿った記述をしています。 なお、県では、商店街等の活性化を図るため、不足業種・業態の解消による商業集積の魅力向上のための商店街等の取り組み等に対し、空き店舗需要マッチングシステムの運営、アドバイザーの派遣、商業者グループ等への補助などの支援を行う「空き店舗活用支援事業」を実施しています。</p>
<p>学校施設を活動の拠点にするがあるが、最近、学校を狙った犯罪が頻発しており、学校が閉じる方向に動いている。このあたりをどう考えるのか。</p>	<p>1 具体的な施策の参考とします 地域づくり活動の拠点として、学校は重要な施設だと考えており、具体的なしくみについては、今後、県民や市町と検討を深めていきたいと考えています。</p>
<p>補助金申請の「ワンストップサービス」が挙げられているが、競争的補助金の獲得では、対面でのヒアリングや質疑応答が重要である。県ではプログラム・オフィサーの役割が十分に理解されているとは言えず、助成金の申請や活用の課題になっている。補助金の申請に当たって、本当に役立つサービスは簡素化、迅速化だけではないと思われる。</p>	<p>1 ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P21の「自立的な財政基盤の充実を支援します」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。 「また、補助金等の申請にあたっての相談体制の整備や、審査にあたってのヒアリングの実施など、県民の立場に立ったしくみを拡充します。」</p>
<p>寄付文化について触れてあるが、これは日本の将来を考える上で、とても重要である。具体的な道筋は見えないが、是非、取り組んでほしい。</p>	<p>2 既に盛り込み済みです P21の重点取り組み項目「自立的な財政基盤の充実を支援します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。 これらの取り組みを実施しながら、寄附文化の醸成を図っていきます。</p>
<p>NPOの中には、実態のないものや、反社会的な活動を行っているものもあると聞く。NPO支援にあたっては、本当に支援するに値する団体かどうかの審査はどうしているのか。</p>	<p>1 その他 NPO法人については、認証の際の審査のみならず、事業報告書の審査、情報公開による市民監視など、適正な運用を図っています。</p>

活動を つなぎ、 広げる	<p>近年、特に自治会活動や婦人会活動が低調であると感じている。一方で、元気のいいNPOがさまざまな活動を行っており、うまく連携していきたいと思っているが、なかなか相互理解が難しい。双方が連携して地域づくり活動に取り組めるようなくみづくりが必要である。</p>	4	<p>既に盛り込み済みです P22の「活動をつなぎ、広げる」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>地域団体、NPO、推進員、地域ビジョン委員、コーディネーターなどに関わる人材が重複している。ネットワークと称して、同一・類似の活動をしている組織(団体)・人を結びつける傾向が強い。 むしろ今後の地域づくりには、同質的な結びつきよりも異業種交流による新しい発見といった異質的な結びつきの方が重要ではないか。</p>	1	
	<p>地域づくり活動サポーターの役割を明確にする必要がある。 また、サポーターズネットは、何をめざすネットワークなのかがよく分からない。同種のネットワークが他にもあると聞くと、それらを一本化できないか。</p>	2	<p>既に実施しています 地域づくり活動サポーターは、県民のさまざまな地域づくり活動を効果的に支援するため、県民の身近なアドバイザーとして、また、グループ・団体・NPO/NGOなど多様な主体のつなぎ役として、さらに、県民局域で活動する各種推進員の連携の推進役としての役割を担っています。今後、サポーターが円滑に活動できるよう、これらの役割を明確にし、わかりやすく情報提供してまいります。 また、サポーターズネットは、地域づくり活動のさらなる拡がりを目指し、サポーターをはじめ、各種推進員や地域団体・NPOリーダーなど地域づくり活動を担っている人材の出会いの場として構築するものです。具体的なネットワークの目的については、各地域の実情や抱える課題に基づき設定していくこととなります。</p>
	<p>ネットワークづくりに関しては、縦割りと市町行政のしがらみで実現できておらず、現状ではまだ課題が多い。</p>	1	<p>その他 多様な主体が地域を越えて連携できるように、P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」に記載した取り組みを積極的に進めます。</p>
	<p>ネットワークづくりをすすめるにあたっては、インターネットによる情報共有に偏ることなく、実際に集まって意見交換したり、コミュニケーションを図る労力をいとわないことが大切だと思う。</p>	1	<p>既に盛り込み済みです ネットワークづくりをすすめるにあたっては、インターネットによる情報共有だけでなく、P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」に記述のとおり、多様なネットワークづくりを支援してまいります。</p>

<p>資金源（パブリックリソース）の拡大と多様化は、独立して取り扱うのがふさわしい課題である。ここでは例示として「アワード」が挙げられているが、1%支援制度（市民活動支援制度）など、近年各地で工夫され、導入されているさまざまなしくみに留意する必要がある。</p>	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。</p> <p>「県民はもちろん企業や活動団体等が、地域づくり活動への意欲を高めていただくきっかけづくりとなるよう、企業等から資金を募り、優れた地域づくり活動の顕彰する「アワード」のようなしくみをはじめ、多様な資金を募るしくみを活用・導入します。」</p>
<p>地域づくり活動を展開するためには、そこに住んでいる人だけでなく、出身者や何らかの縁のある人などにも参画・協働してもらう仕組みが必要である。</p>	<p>既に盛り込み済みです P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
<p>ボランティア団体の中間支援組織であるひょうごボランティアプラザが実施しているのは、NPOが不特定多数のNPO等に対し行っている中間支援活動への資金助成であり、中間支援組織に対する支援ではない。中間支援組織自体は連携の対象ではあっても支援の対象ではないのではないか。</p>	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P23の重点取り組み項目「活動を総合的に支える中間支援機能を持つ組織・団体を支援します」の記述を次のとおり修正しました（下線部を修正）。</p> <p>「ボランティア活動の全県的な支援拠点であるひょうごボランティアプラザが、<u>公的な支援機関、専門的知識を持つ大学、企業などと連携しながら、中間支援機能を持つNPO/NGO、地域支援拠点などとの情報共有、ネットワーク形成、資金助成などを通じて、さまざまな中間支援機能の充実を支援します。</u>」</p>
<p>ひょうごボランティアプラザの機能を高めるために、プラザの地域版を県民局に設置するなど、各県民局との連携の手段をもう少し明確化できないか。</p>	<p>既に盛り込み済みです P23の「活動を総合的に支える中間支援組織を支援します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。 具体的には、「ひょうごボランティアプラザ」の全県支援拠点機能の一つとして、各県民局と連携し、管内の「生活創造センター」「市区町社会福祉協議会ボランティアセンター」「公民館」「中間支援NPO」等のネットワーク「地域別活動支援ネット」を形成し、地域づくり活動の現状・課題や支援に関する情報共有、支援に関する連携強化を図ることとしています。</p>

<p>災害時を想定した平時からの関係者のネットワークづくりは重要である。その中核になるのは、やはり県・市町などの行政ではないか。また、生協や大学など災害救援に実績のある組織が入っていないのはなぜか。</p>	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P23の重点取り組み項目「活動を総合的に支える中間支援機能を持つ組織・団体を支援します」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。</p> <p>2 「災害時のボランティア活動がスムーズに展開されるよう、行政（県・市町）、県・市町社会福祉協議会、ひょうごボランティアプラザが連携し、災害救援NPO/NGOや企業、<u>生協</u>、<u>職</u>能団体など多様な主体による、平時からのネットワークづくりを進めます。」</p>
<p>中間支援組織の支援機能の強化を図るため、生きがいしごとサポートセンター事業にNPOの中間支援機能に関する事業を付加してはどうか。</p>	<p>具体の施策の参考します 県では、コミュニティ・ビジネス等による生きがいを重視した働く場や、活動の場を求める方を総合的に支援することを目的とした「生きがいしごとサポートセンター事業」を実施してきました。 H18年度からはこれまでの事業に加え、 1 生きがいしごとをコミュニティ・ビジネスとして定着させ、地域社会に貢献できるようにするため、NPO等起業後の団体に対して専門家派遣や講座・研修の開催などの支援を行うこととしています。</p>
<p>企業とNPO法人との協働を進めるために、企業とNPO法人のマッチングやフォーラム・交流会の開催などをしてはどうか。</p>	<p>既に盛り込み済みです P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。 1</p>
<p>地域づくり活動応援事業（地域団体活動パワーアップ事業）など、県の支援をうまく活用していきたいと考えているので、この施策はぜひ継続してほしい。</p>	<p>その他 2 地域団体活動のさらなる活性化を通じて活動の裾野が広がるよう、これまのパワーアップ事業の取り組みを検証した上で、引き続き実施していきます。</p>
<p>住民が自分たちの地域社会を、自分たちの力で大切にすること、本当に大事なことである。「参画と協働」というと難しく聞こえるが、昔の地域社会のつながりを取り戻すことだと思う。場合によっては、何らかの強制力が働くような仕組みが必要ではないか。</p>	<p>対応は困難です 1 地域社会の共同利益の実現への参画と協働は、あくまで県民の自律的で自発的な取り組みのもとで推進していくものと考えています。</p>

<p>(3)参画と協働による県行政推進の方向 県民と情報を共有する</p>	<p>参画と協働の基本は情報公開であり、県はもっと積極的に情報の公開・提供に取り組むべきである。また、情報を提供する際には、県民の立場に立ったわかりやすい情報の提供や、県民に興味をもってもらえるようなPRなどの広報上の工夫が必要である。</p>	<p>5</p> <p>既に盛り込み済みです P24の「県民と情報を共有する」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>「世代や属性を意識した広報活動の展開」とあるが、そのようなきめ細かなサービスが実現するとありがたい。世代ごとにどのような広報ニーズがあるのか、民間企業のマーケティング戦略などが参考になるのではないか。</p>	<p>1</p> <p>既に盛り込み済みです P24の重点取り組み項目「県民が主体的に選択できる情報を迅速に提供します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>県の情報提供については迅速さが重要だと思う。現在、本庁のホームページは広報課が一元管理しているが、たとえば「広報課の許可を得たページについては各課の決裁で更新してよい」というようなしくみをつくってはどうか。</p>	<p>1</p> <p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P24の重点取り組み項目を「県民が主体的に選択できる情報を迅速に提供します」に修正しました（下線部を追加）。 なお、現在、県では、県ホームページの統一性の確保と、時機を逃さない迅速な情報発信の両面から、ホームページを更新する際の手続の見直し等についても検討しています。</p>
	<p>施策の企画・立案、執行にあたって、本当に無駄はないか、予想していた効果が得られたか、費用対効果はどうかなどを、県民に分かりやすく説明することが必要である。ただし、行政は民間企業とは違い、コストの論理だけではいけない。コストはかかっても（民間ベースではできなくても）、地域の健全な発展のためには実施しなければならない取り組みもある。そのあたりをうまく評価する仕組みも必要である。</p>	<p>1</p> <p>既に盛り込み済みです P24の重点取り組み項目「県行政の評価・検証への県民参画を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
<p>県民と知恵を出し合う</p>	<p>一般県民が普通に生活していると、県庁とはあまり縁がないように思う。様々な委員とかの公募を行っているのは知っているが、日常の仕事もあり、応募にまでは至らないというのが大半の県民の感想だろうと思う。</p>	<p>1</p> <p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P25の重点取り組み項目「審議会などへの県民の参画機会を拡げます」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。 <u>「審議会等への県民の関心を高めるとともに、委員として広く県民の参画を求め、審議会等にかかる情報を一括提供するホームページ内容の拡充など積極的な広報に努めます。」</u></p>

		<p>県民モニター、アドバイザーなどを導入するとあるが、ばらばらに募集するのではなく、できるだけ県民に分かりやすい形で募集、広報してほしい。</p>	<p>1</p> <p>具体の施策の参考とします 審議会等の委員と同様に、県民モニター、アドバイザーなどの募集についても県民に分かりやすい広報に努めます。</p>
県民と力を合わせる		<p>NPO活動に取り組んでいるが、行政のNPOに対する理解が少ない（信用されていない）と感じることが多い。NPOの社会的な意義をもっとPRするとともに、行政と協働して地域づくり活動を行う機会を増やしてほしい。</p>	<p>1</p> <p>既に盛り込み済みです P26の「県民と力を合わせる」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
		<p>参画協働を進めていく上で、信頼関係が最も重要なことだと思っている。自治会やNPOと行政とがもっとお互いのことを知り、本音で話し合える関係になるのが参画と協働を進めていくためにはぜひ必要である。</p>	<p>1</p>
5 参画と協働の推進に向けて	(1)目に見える形での展開	<p>美化運動の推進などは、参画と協働のテーマとして取り組みやすいものだと思うので、県民と行政が協働し、より一層取り組みをすすめるべきだと思う。</p>	<p>1</p> <p>既に盛り込み済みです P28の「(1)目に見える形での展開」に記述のとおり、子育て、地域防犯、環境・緑化など地域の特性に応じたテーマを設けるなど、できるだけ県民にわかりやすく、取り組みやすい形で参画と協働の推進を図っていきます。</p>
		<p>地域において参画と協働による取り組みは拡がりつつあるが、まだまだ県民の大多数は無関心であり、今後は、一段とわかりやすい施策が望まれる。</p>	<p>1</p>
(2)推進体制の整備		<p>参画と協働の推進には、県職員の意識改革が重要である。職員には、参画と協働の先導役として、広い知識と実践力を持ってほしい。そのための研修も充実するべきである。</p>	<p>7</p> <p>既に盛り込み済みです P28の「職員意識を醸成します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
		<p>全体的に県職員、特に県民局の職員の対応が良くなった。参画と協働の県政の成果か。</p>	<p>2</p> <p>その他 今後とも県民の視点に立った参画と協働による県行政の推進に努めていきます。</p>
		<p>もっとコスト意識、効率意識を高める必要がある。行政は民間企業と違う原理が働くことは理解しているが、どうも非効率で対応が遅い面が多いことも否めない。</p>	<p>1</p> <p>その他 職員のコスト意識の向上やアウトソーシングの推進などにより、県民への迅速かつ効率的な行政サービスの提供に努めていきます。</p>
		<p>県職員もそれぞれの居住地で地域の一員として地域づくり活動に積極的に参画し、その活動情報を県職員間で共有することにより、地域づくり活動をもっと身近なものとしていく必要がある。</p>	<p>1</p> <p>既に盛り込み済みです P28の「職員意識を醸成します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>

		<p>行政の意思決定のしくみをもっとシンプルにする必要がある。特に、現地解決型が売り物の県民局における権限を強化することが必要である。</p>	1	<p>既に盛り込み済みです P29の「市町との連携を深めながら、全庁が一体となった推進体制を整備します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
		<p>県民が地域づくり活動や県行政への参画・協働に取り組みたいときに、気軽に親切に相談に乗ってくれる仕組みがあればよいと思う。できれば、より身近にあればよいが、せめて県民局単位で設置してもらいたい。</p>	2	
		<p>市町と県の関係について、「施策立案段階から、情報を共有し・・・そのための仕組みづくりに取り組みます。」とあるが、具体的にどのような仕組みを想定しているのか、例示してもらえると分かりやすい。</p>	1	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P29の「市町との連携を深めながら、全庁が一体となった推進体制を整備します」に次のとおり記述を追加しました（下線部を追加）。</p> <p>「市町と県が対等・協力のパートナーとして、緊密な連携・協調のもと、施策立案段階から情報を共有し、効果的な施策の立案・広報・実施はもとより、参画と協働の推進方法などについて意見交換を行うため、<u>県・市町会議や県民局での地域政策懇話会などを効果的に運用するとともに、市町と県が日常的に情報共有、意見交換を図るため、ITを活用するなど迅速で効果的な仕組みの構築に取り組みます。</u>」</p>
資料	資料2 用語解説	<p>用語解説に一部不正確な記述があるので、正しく記述するべきである。</p>	1	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P36～38の「資料2用語解説」の「NGO」「NPO」「ひょうごボランティア基金」「ひょうごボランティアプラザ」などの用語を修正しました。</p>

出前会議参加団体等との意見交換、NPOと行政の協働会議で
提出された意見等の概要とこれに対する考え方

意見等の提出件数：65件

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
指針・計画全般について	地域の住民自らが、知恵やアイデアを出し合っ、力を合わせて、さまざまな地域づくりに取り組む「参画と協働」は大切である。	丹波	既に盛り込み済みです 今後は、補強・改定した本指針・計画に基づき、県民の参画と協働のより一層の推進を図っていきます。
	指針・計画の内容は素晴らしいので、今後、これを実現させることが大切である。	但馬	
	内容が、抽象的で分かりにくい。もっと具体的な施策を記載すべきではないか。	北播磨 淡路	既に盛り込み済みです 本指針・計画は、参画と協働関連施策を展開するための基本となるものであり、具体的な施策については、P4の「(3) 毎年度の推進と評価」に記載のとおり、本指針・計画に基づき、毎年「参画と協働関連施策の展開方針(施策体系)」を作成し、公表することとしています。
3 兵庫 が 描 く 参 画 と 協 働	(1)参画と協働による兵庫づくり	地域の人自治会活動に無関心だが、権利は主張する。義務に対する意識を持ってもらわないといけない。行政でこういった意識を植え付ける何かができないか。	既に実施しています 本指針・計画に基づき、参画と協働の意義や必要性について、積極的に普及・啓発していきます。
		台風の時に被害に遭い、近所の人に助けてもらった。普段からのつながりが大事である。	既に盛り込み済みです P12の「参画と協働による兵庫づくり」において、地域社会の一員として自覚と責任を持ち、積極的に地域につながっていくことの重要性など、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
	(2)各主体の役割と連携	市町を県の下請けのように考えている、施策はうまくいかない。市町の主体性を活かすように、プロセスを重視することが必要である。	既に盛り込み済みです P15の「【地域づくり活動での市町と県の関係は...】」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
	県の施策・事業が市町に伝わっていない。県と市町の情報共有を強化すべきではないか。	東播磨 阪神北	

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
	<p>参画と協働について、市町の対応がよくないので、参画と協働の窓口や実践組織を設けるよう県で指導・助言できないか。</p>	<p>阪神南 東播磨</p>	<p>既に盛り込み済みです P15の「【地域づくり活動での市町と県の関係は...】」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>各市町の参画と協働に対する意識には隔差があるので、県から市町に意識改革を促してほしい。</p>	<p>神戸 阪神南 西播磨</p>	
	<p>身近な県政を目指しているのはよいことであるが、市を通さずに県職員に要望を直接言おうと、市の職員はいやがる。市町と県の調整が必要ではないか。</p>	<p>淡路</p>	
	<p>自治会、婦人会などの地域団体が衰退傾向にある。NPO等の新しい組織が必要ではないか。</p>	<p>東播磨</p>	
<p>4 参画と協働の展開方向</p>	<p>(2)地域づくり活動の支援の方向 新たな活動を生み、育む</p> <p>「参画と協働」はあくまで手段である。参画と協働による具体的な取組みにより、こういう成果が出たという実例を示すような形で広報すれば、県民に伝わりやすいと思う。</p>	<p>淡路</p>	<p>既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>こころ豊かな人づくり500人委員会の活動をしていると、好きで勝手にやっているんだろうという言い方をされる。もっと一般の人に活動が認識されるよう広報をするべきである。</p>	<p>阪神北</p>	

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
	<p>ひょうごボランティアプラザのホームページでさまざまな活動情報を提供しているとのことだが、これまでプラザのホームページを見たことがなく、私と同様に知らない人は多いと思う。情報発信の内容の充実は必要だが、発信していることのPRも大切である。</p>	淡路	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」に次のとおり記述を追加しました(下線部を追加)。</p> <p><u>「ひょうごボランティアプラザで運用している、活動団体間の出会いや情報共有の場となる「地域づくり活動情報システム(コラボネット)」について、広く活用されるよう積極的なPRに努めます。」</u></p>
	<p>地域づくり活動情報システム(コラボネット)は、使いこなしている者はごく一部であり、まだまだ身近なシステムになっているとはいえないので、工夫が必要である。</p>	中播磨	<p>既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>まちの子育てひろばでコーディネーターをしているが、ひょうごボランティアプラザや少子局など、さまざまなところから、数多くの情報がばらばらに流れてくるので困っている。ある程度、情報を集約して提供できないか。</p>	淡路	
	<p>自分から進んで活動に取り組んでいると、情報が入手できるようになる。一般の人には情報が届かないことが問題ではないか。</p>	阪神北	<p>既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」やP19の「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>活動する人が一部に限られている。活動に参加していない人をどうやって引き込むかが課題である。何かわかりやすいきっかけがないと、なかなか活動に参加できないのではないか。</p>	阪神北 中播磨	<p>既に盛り込み済みです P19の重点取り組み項目「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>地域で活動しているのは、年配者ばかりなので、若者の参加を促す取り組みが必要ではないか。</p>	中播磨	

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
	<p>若者をターゲットにした取り組みだけでなく、田舎では、比較的元気な高齢者が多いので、そうした高齢者をターゲットにした取り組みも必要ではないか。</p>	淡路	<p>既に盛り込み済みです P19の重点取り組み項目「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>2007年問題に関して、退職して地域に戻ってくる人に対して呼びかけたいが、知らない人に声をかけると不振がられるので、なかなか声をかけられない。</p>	阪神北	
	<p>参画と協働による地域づくり活動については、地域間で温度差があるため、活発でない地域についてはもっと啓発していく必要がある。</p>	西播磨	<p>既に実施しています 本指針・計画に基づき、参画と協働の意義や必要性について、積極的に普及・啓発していきます。</p>
	<p>神戸の企業は、大阪の方を向いてCSR活動をしているように感じる。もっと兵庫県内で活動するように誘導しなければならない。</p>	NPO	<p>既に盛り込み済みです P19の重点取り組み項目「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>地域づくり活動に関する様々な講座の修了者が、地域で活動しやすい環境をつくってほしい。</p>	西播磨	<p>既に盛り込み済みです P19の重点取り組み項目「実践活動につながる学習機会を充実します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
活動を高め、支える	<p>県の事業は、2～3年で終わることが多いので、団体の活動の継続性に配慮して、息の長い支援が必要ではないか。</p>	中播磨 但馬	<p>既に盛り込み済みです P17の「(1)展開にあたっての3つの視点 県民主役の展開」やP20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>先導的な地域づくり活動について、県が積極的に支援してはどうか。</p>	西播磨	<p>既に盛り込み済みです P20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
	<p>事業の継続性という観点から、担当者が変わった場合に、人的なネットワークが途切れてしまうのは困る。うまく引き継ぎができるような仕組みはできないか。</p>	NPO	<p>既に盛り込み済みです P20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」やP28の「職員意識を醸成します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>団体の代表等にもっと参画と協働を啓発してしてもらいたい。そうすれば活動が一般に広がりやすいのではないか。</p>	阪神北	<p>既に盛り込み済みです P20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>地域づくり活動に取り組んでいても、物騒な時代なので、地域の人に信頼してもらえない。 例えば、ユニフォーム（スタッフジャンパー、帽子、名札）を支給してもらえたら、身分証明になってもっと活動しやすい。</p>	阪神北	<p>既に盛り込み済みです P20の「活動を高め、支える」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>地域づくり活動を継続する上で、活動経費をどのように捻出するかは切実な問題である。助成制度を充実するとともに、その内容を分かりやすく情報提供してほしい。</p>	淡路	<p>既に盛り込み済みです P21の重点取り組み項目「自立的な財政基盤の充実を支援します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>助成金の使途が限られていて、困ることがある。もっと柔軟な助成をしてほしい。</p>	阪神南 淡路	
	<p>パワーアップ事業による助成は、非常にありがたい。しかし申請書類が難しいので、もっと手続を簡素化できないか。</p>	淡路	
	<p>活動助成や指定管理者の選考にあたって、障害者を雇用していたら評価されるような運用はできないか。</p>	NPO	<p>具体の施策の参考とします いただいたご意見は、今後の活動支援や指定管理者制度の運用にあたって参考とさせていただきます。</p>

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
	<p>子どもの登下校時の危険に対して不安を感じる。県ではどのように対応しているか知りたい。また、地域における自主的な子どもの見守り活動をもっと支援していくべきではないか。</p>	但馬	<p>既に実施しています 県では、地域住民による自主的な防犯活動の活性化を図り、地域における犯罪発生の防止をめざす「地域ぐるみ安全対策事業」を実施しています。また、子育て支援として、地域の団体や住民がネットワークを組み、子育て家庭への見守りや子育て相談など、子育て家庭応援運動を展開する「子育て応援ネット」（地域子育てネットワーク事業）を推進しています。</p>
	<p>場所の確保にはいつも苦労しているので、活動拠点が各地域に数多くあることが大切である。団体間の交流の場となるし、そこに備品等において、必要に応じて各団体が利用できれば効率的である。</p>	阪神北 淡路 西播磨	<p>既に盛り込み済みです P21の重点取り組み項目「既存施設を活用した身近な活動の場づくりを支援します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
活動をつなぎ、広げる	<p>青少年活動コーディネーターをしているが、県や関係機関との情報共有が十分できていない。例えば、サポーターズネットについて、そういうものがあることは知っているが、呼びかけてもらったことはない。</p>	淡路	<p>既に盛り込み済みです P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。 なお、サポーターズネットについては、地域づくり活動を担っている人材の情報共有の場として、関係者に広く呼びかけていきます。</p>
	<p>グループ間の連携・協力をすすめるにあたっては、グループ間で目的を共有していることが前提であり、連携・協力することによって何を旨とするのかを明確にするべきである。</p>	中播磨	<p>既に盛り込み済みです P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。 なお、多様な主体間での連携・協力をすすめるにあたっては、それぞれが一緒になって地域課題への対応を検討し、目的を共有することが必要であると考えています。</p>
	<p>東播磨生活科学センターで、支援団体が集まる機会があったが、そのような取り組みは大変有意義である。今後もさらなる充実を期待している。</p>	東播磨	<p>既に盛り込み済みです P23の重点取り組み項目「各地域での総合的な支援拠点機能を充実します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
	<p>個人情報を守られることによって、人とのつながりが制約される。このメンバーでもう一度集まりたいと思っても連絡をとれないので、次の活動につながらない。</p> <p>地域振興のためには、企業とボランティアの連携は大切である。</p>	<p>阪神北</p> <p>NPO</p>	<p>その他 個人情報保護法の施行により、個人情報保護への関心が高まり、一部で過剰反応ともいえるような状況が見られます。 県民の皆様には、個人情報保護の誤った認識により、地域づくり活動に支障をきたすことのないよう、適正に個人情報を取り扱いながら、活動していただくことが必要と考えています。 なお、活動グループにおける連絡表の作成については、そもそも個人情報保護法の規制対象ではなく、事前にグループのメンバーから同意を得て作成すれば、特に問題はありません。</p> <p>既に盛り込み済みです P22の重点取り組み項目「人や活動をつなぎます」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
<p>(3)参画と協働による県行政推進の方向 県民と情報を共有する</p>	<p>県の出している県民向けのパンフレットは抽象的な言葉が多くてよく分からない。パンフレットの作成も「参画と協働」で、県民の意見を聴きながら作成すれば、分かりやすくして良いものができると思う。</p>	<p>淡路</p>	<p>ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P24の重点取り組み項目「県民が主体的に選択できる情報を迅速に提供します」の記述を次のとおり修正しました（下線部を修正）。</p> <p><u>「若い世代など多様な県民の参画を得ながら、印刷物の効果的な配布や編集方法の工夫、対象とする世代などに着目した広報活動を展開するとともに、ITを活用した双方向性のある広報を推進します。」</u></p>
<p>県民と知恵を出し合う</p>	<p>地域の交通の利便性をよくするため、事業を提案したが、それに対して何も返してもらえなかった。提案をどう生かすかが重要である。</p>	<p>阪神北</p>	<p>既に盛り込み済みです P25の重点取り組み項目「県民の提案を具体的な取り組みにつなげます」の記述に基づき、県民からの提案を有効に活用するための取り組みを積極的に進めます。</p>

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
5 参画と協働の推進に向けて	(2)推進体制の整備 県職員の顔が見えないと言われるが、市町合併で、町が市になり、市の職員さえも顔が見えなくなった。行政職員が地域へ出て行く意識改革が必要ではないか。	阪神南 但馬	既に盛り込み済みです P28の「職員意識を醸成します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
	NPOの話を聞く姿勢のある職員がいれば、うまくいくが、人事異動で交代すると活動が冷えてしまうのは問題である。行政は、引き継ぎをうまくしてほしい。	阪神南	
	「職員意識を醸成します」とあるが、高い見識を持つ県職員が、県民の意識を醸成するというような印象を持つ。	東播磨	その他 P28の「職員意識を醸成します」の記述は、あくまで県職員に向けられたものであり、参画と協働の推進には、県職員の意識改革、県民の視点にたった行政能力の向上が不可欠という観点から記述しています。
	活動に関する相談をしたくても、どこの窓口に行けばいいのか分からない。気軽に相談できる窓口が欲しい。	淡路	既に盛り込み済みです P29の「市町との連携を深めながら、全庁が一体となった推進体制を整備します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
	行政は、民間企業のように、単に業績主義になってはいけない。プロセスを重視することが重要である。	東播磨	既に盛り込み済みです P29の「過程（プロセス）を重視した施策・事業を展開します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
	人間関係で仕事をするのは時代遅れではないか。担当者が変わっても、ビジネスとして続けられるような仕組みづくりが必要ではないか。	NPO	その他 参画と協働の推進にあたっては、県民と行政が確かな信頼関係を築くことが大切であると考えています。 なお、担当者の変更により、行政サービスに差が生じないように、職員の資質向上とともに全庁的なノウハウの共有を図っていきます。
	企業で実施しているような職員からの提案を募集し、審査の上、予算化し実施するような仕組みはできないか。	NPO	既に実施しています 県では、職員の行政参加の意欲を高めるとともに、行政水準の向上を図ることを目的として、職員提案制度を実施しており、内容が優れていると認められる提案については、施策に活かすことができる仕組みを設けています。

項目等	意見等の概要	地域等	県の考え方
その他、地域づくり活動や県行政全般について	行政とNPOが対等に話ができるようになるためには時間がかかる。NPOは実績と体力をつけていかなければならない。	阪神南	その他 今後とも、県民の皆さんの意見や取り組みを参考にしながら参画と協働の推進に取り組んでいきます。
	NPOが社会的に認められるためには、まず住民と協働することが先決である。その後で行政と協働すればよい。	阪神南	
	行政と協働しなくても活動していける方法を考えて、実績を積んでいくことが大事である。私の団体は、行政をあてにしなくても活動できるようにしている。	阪神南	
	欧米のNPOは、成功の方法、情報を得るために、互いに学び、教えあい、協力し合って、めざましい成長をとげている。日本のNPOもそのような方法で互いに大きく成長していかないといけない。	阪神南	
	川西市では、市内の情報交換の場である「つながりカフェ」の開催を3月に予定しているが、これをメルマガとして発行できないかと考えている。	阪神南	
	もっと女性の意見を踏まえた内容にするべきではないか。	北播磨	

市町から提出された意見等の概要とこれに対する県の考え方

意見等の提出件数： 16件(7市町)

項目等	意見	市町名	県の考え方
指針・計画全般について	<p>参画と協働の必要性・重要性について、住民は十分に理解していないと思われる。</p> <p>このため、参画と協働の必要性・重要性について、住民に対し、さまざまな媒体を通して、分かりやすく広報、啓発していくことが必要である。</p>	A市	<p>既に実施しています</p> <p>参画と協働の意義や必要性について、本指針・計画の考え方に基づき、さまざまな媒体を活用し、わかりやすい広報・啓発に、より一層努めます。</p>
	<p>参画と協働の5つの要素(ともに知る・考える・取り組む・確かめる・支える)から、情報の共有化、活動支援、県行政への参画・協働、推進体制の整備などを盛り込んでおり、良くまとまっている。</p>	B市 C市 D市	<p>その他</p> <p>これらの考え方に基づき、県民の参画と協働のより一層の推進を図っていきます。</p>
3 兵庫が描く参画と協働	<p>施策の立案・実施にあたっては、市町の意向を反映し、連携を図ることが必要である。</p> <p>また、県と市町が連携・協働して取り組む事業では、市町の人員等の体制にも配慮してもらいたい。</p>	B市 C市	<p>既に盛り込み済みです</p> <p>P15の【地域づくり活動での市町と県の関係は・・・】において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>市町と県の関係について、「市町と県がそれぞれの特性を生かして、重層的な取り組みを実施」とあるが、重複行政の見直しが叫ばれる現状にあって、問題にされることはないのか。</p>	A市	<p>既に盛り込み済みです</p> <p>P15の【地域づくり活動での市町と県の関係は・・・】において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p> <p>なお、県民の視点に立って、施策の効果が相乗的に高まる場合には、市町と県がそれぞれの特性を生かして、重層的な取り組みを実施します。</p>
	<p>文章では市町と県の関係が明確に記載されているが、「各主体の役割と連携」の図では、表現が簡潔にまとめられてしまっている。こういった図は市民に理解しやすいので、図の中にも詳述してほしい。</p>	E市	<p>ご意見を反映しました</p> <p>P14の図「行政」の枠内に次のとおり記述を追加しました(下線部を追加)。</p> <p><u>市町と県の役割分担と連携</u> <u>・市町と県の適切な役割分担</u> <u>・緊密な連携・協調</u> <u>・県と市それぞれの特性を生かした重層的な取り組み</u></p>
4 参画と協働の展開方向	<p>参画と協働に関する情報提供や啓発により、住民の意識改革を促すとともに、講演会や研修会の開催等により、多くの担い手づくりを進める必要がある。</p>	A市	<p>既に盛り込み済みです</p> <p>P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」やP19「実践活動につながる学習機会を充実します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。</p>
	<p>「団塊の世代を地域力の向上に結びつけるしくみづくり」を記載するべきではないか。</p>	A市	<p>ご意見を反映しました</p> <p>ご意見を踏まえ、P19の重点取り組み項目「地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます」において、項目を別にして記述しました。</p> <p><u>「特に、2007年頃から退職期を迎える団塊の世代が、これまでの社会経験や技能を生かして、地域づくり活動に取り組めるよう、総合的な支援に取り組めます。」</u></p>

活動を高め、支える		市町や県を構成するのは地域の住民であり、地域の活性化が、市町や県の活性化につながる。そのためには、地域づくり活動の継続的な支援は必要であるが、最終的には活動団体の自立につながるような支援でなければならない。	F市	既に盛り込み済みです P17の「(1)展開にあたっての3つの視点 県民主役の展開」やP20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
		地域を支える人材は豊富であるが、高齢者が多く、申請に苦勞している。申請書類等を簡素化するとともに、文字を見やすくしたり、書き方の見本をつけたりする工夫も必要である。	B市	既に盛り込み済みです P21の重点取り組み項目「自立的な財政基盤の充実を支援します」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
		地域づくり活動応援(パワーアップ)事業の拡大・継続をお願いしたい。	A市	既に盛り込み済みです P20の重点取り組み項目「主体的、継続的な活動につながるような支援を行います」において、ご意見の趣旨を踏まえた記述をしています。
		利用する住民から見ると、縦割りでいろいろな制度を作っており、分かりにくいのではないかと。	D市	既に盛り込み済みです P18の重点取り組み項目「多様な情報を使いやすく提供します」において、県民が活用できる活動支援情報を集約して提供するため、活動支援ナビ等の機能を充実するとともに、そのシステムが広く活用されるよう広報に努めることを記述しています。
(3)参画と協働による県行政推進の方向 県民と力を合わせる		「早い段階から市町と県が情報提供し...」の「早い段階」とは、「施策立案段階」のことなのか。表現を統一した方が分かりやすいのではないかと。	D市	ご意見を反映しました ご意見を踏まえ、P26の重点取り組み項目「県民の主体性を生かし、多様な協働を展開します」の記述を次のとおり修正しました(下線を修正)。 「地域に密着した取り組みについては、 <u>施策立案段階</u> から市町との情報共有・調整・連携を図るとともに、...」
向5 け参 て画 と協 働の 推進 に	(1)目に見える形での展開	参画と協働について、県民に対し、分かりやすく情報提供することにより、多くの人に周知していくことは大切であるが、現時点では、まだまだ認知度は低いと思われる。このため、参画と協働の姿を目に見える形で実感できる事業の展開は、県民の参画と協働を多くの人に周知する一つの手段でもある。	F市	既に盛り込み済みです P28の「目に見える形での展開」に記述のとおり、今後、できるだけ県民にわかりやすく、取り組みやすい形で参画と協働の推進を図っていきます。